

わがまち 高萩を支える 働き人



かとう けんじ
加藤 匡さん(38歳・入社2年目)
(株) アンテックス 高萩工場
所属:営業部

◆高萩市に期待すること

高萩に初めて来たときの印象は、「駅前には何も無い」「市」とは言え、小さな街なんだなあ」でした。廃墟や空き店舗が多いのは防犯対策も兼ね

◆高萩市の魅力とくらし
高萩の良いところは、子供も大人も気軽に「あいさつ」をしてもらえることです。高萩にずっと住んでいるとそれが「当たり前」で気が付いていないかもしれません。みなさんとても礼儀正しくて、とても素晴らしいことです。日課のジョギングをしていると声をかけてくれる人がいたり、老夫婦が仲良く歩いている姿を見かけるとほっこりした気持ちになります。また、高萩の海は水も砂浜もとてもきれいで、それなのに空いてるのが魅力です。都会の方の海はゴミゴミしていますから。今は市内のアパートで一人暮らしをしています。将来的にはマイホームを購入してずっと高萩に住みたいですね。実は、現在婚活中で市のハッピーサポート事業にも参加しました。良いご縁があれば！と思います。

◆仕事のやりがい
自分は、東京生まれの青森育ちで、カナダ・上海・香港での海外生活を経験後、現職に就きました。そんな経歴から海外での営業が多く、インドのお客様のところへよく出張しています。インド・中国など、自分が訪れる度にその国がどんな発展しているのを見るのは楽しいです。現地では、英語とボディーランゲージを使い、気持ちで会話します。言葉はわからなくとも、心が通じる瞬間が素晴らしい！人間の根底にある優しさ、思いやりは全世界に共通するということを実感しています。このような機会を得ることができ、アンテックスに入って本当に良かったと思っています。



(株) アンテックス 高萩工場
住所:高萩市上手綱3333-24
TEL:0293-23-7511

■会社概要 Antex

大正6年に鍛工品の製造販売として創業。昭和40年に「リングローリングミル」を自社開発することで事業拡大をし、昭和55年に工場を高萩市に竣工。現在は大型旋回ベアリングの一貫生産工場として、主力製品の油圧ショベル用旋回ベアリングでは日本国内シェア70%以上、世界シェアでも40%以上をもっており、技術開発・設備強化を積極的に推進しています。



展示会場で商談する加藤さん▲

ねて何とかしてもらいたいですね。茨城県の魅力度ランキングが低いのは「アピル」が下手なだけだと思っています。本当は「健康寿命が長い」とか「自然が豊か」だとか良いところ、魅力がたくさんあることが高萩に住んでみてわかりました。自分もアンテックスに入社しなければ茨城・高萩には来なかったと思います(笑)。高萩の魅力をどんどんもっと外に伝えていって、高萩の海や山へたくさんの人に来てもらえたら良いですね。

生涯現役 いきいき元気



小田島 みつ子さん
(島名)

“地域の子供たちの成長を見守り続けたい”

「立哨中に「おばちゃんまだやってんのけー！」って声を掛けられると嬉しいねえ」とにつこり笑顔で話すのは民間交通指導員の小田島さん。昭和52年に『秋山小交通安全会』会長を務めたのをきっかけに交通に携わり、現在も指導員として活躍。運動会の交通安全パレードや啓発イベントに参加するほか、地域の交差点で子供たちの安全を見守り続けています。約40年続けると大変なこともありましたが、気持ちと体が元気なうちは続けたいと思っています。

立哨していると涙が出そうになるほど嬉しい子供の成長を感じる瞬間もあり、「子供たちの笑顔や明るい声から元気をもらっています。信号待ちのちよっとした会話が楽しみです。孫とより話すかも?」(笑)と語る小田島さん。一緒に立哨するお母さんたちにも「子供には自分から声掛けてあげないとね!」と話しているそうです。

快活な小田島さんの日課は、朝の散歩中に道行く人に声を掛けること。笑顔で元気に返事をしてくれる人、静かに会釈してくれる人など様々ですが、『あいさつ』が人と人をつなぎ、地域の絆をつないでいくように感じています。「見送っていた子供たちが、いつの間にか大人になり『うちの子も小学生になったからよろしくね』なんて声を聞くとすごく嬉しい。これからも子供たちの成長を見守り続けたいです。」



立哨指導する小田島さん▲